

映像作品から 難民について考える

NHKが主催する教育コンテンツの国際コンクール「日本賞」に出品された映像作品を題材に、国際的な課題の現状に触れ、国際理解を深めることを目的としてシンポジウムを開催します。

● 日時

2016年10月6日(木)

開場18:00 開演18:30 終演20:30 予定

● 場所

立教大学 池袋キャンパス 8号館1階 8101教室
東京都豊島区西池袋3-34-1

● アクセス

JR各線・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ丸ノ内線／有楽町線／副都心線「池袋駅」下車
西口より徒歩約7分

● お問い合わせ

立教大学 グローバル教育センター

☎ 03-3985-4876 ✉ cghrd-info@rikkyo.ac.jp

参加無料、要事前申込(定員になり次第終了)

対象:立教大学・他大学学生及び教職員、一般

申込はこちら

<http://s.rikkyo.ac.jp/2016nhksympo> ▶



紹介作品

2015年日本賞最終ノミネート作品



Refugee Republic オランダ

<http://refugeerepublic.submarinechannel.com>

イラク北部に実在する難民キャンプ「DOMIZ キャンプ」を、映像により体験できるウェブサイト。キャンプに暮らす人々の声、彼らの日常を知ること、深刻な難民問題を今までにない視点で考える作品として、高く評価された。

パネルディスカッション

登壇者

● 根本 かおる

国連広報センター 所長



● 景平 義文

特定非営利活動法人
難民を助ける会(AAR Japan)
プログラムコーディネーター



進行・コーディネーター

● 長 有紀枝

立教大学 21世紀社会デザイン研究科/社会学部社会学科 教授



報告

● 橋本 典明

NHK制作局 エグゼクティブ・プロデューサー
(日本賞事務局長)



近年欧米を中心に深刻化する難民というテーマについて、私たちはどう向き合い、何ができるのでしょうか。また問題を理解する手段としてどのようにメディアを活用できるでしょうか。

世界が認めた教育コンテンツを見ながら、実務経験豊富な専門家による体験談、解説をもとに理解を深めます。

講師略歴



根本かおる

国連広報センター 所長

2013年8月より東京国連広報センター所長。テレビ朝日アナウンス部、報道局を経て、コロンビア大学大学院にて国際関係論修士課程取得。国連難民高等弁務官（UNHCR）ネパール・ダマク事務所長、国連UNHCR協会事務局長、UNHCRジュネーブ本部民間資金調達部副部長などを歴任し、現職。



景平義文

特定非営利活動法人 難民を助ける会（AAR Japan）
プログラムコーディネーター

大阪大学大学院人間科学研究科博士課程修了。ケニアで開発支援に従事したあと、2012年より特定非営利活動法人 難民を助ける会で働く。現在はトルコにおけるシリア難民支援を担当。一年の半分をトルコで過ごしている。日本でもNHKやBS朝日に出演するなど、各地で発言し、シリア難民の窮状を伝え続けている。



長有紀枝

立教大学 21世紀社会デザイン研究科 / 社会学部社会学科 教授

早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了。1991年よりAARの専従職員となり、旧ユーゴスラビア駐在代表、常務理事・事務局次長を経て、2008年7月よりAAR理事長。この間紛争下の緊急人道支援や、地雷対策、地雷禁止国際キャンペーン（ICBL）の地雷廃絶活動に携わる。2010年4月より立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科・立教大学社会学部専任教授、2016年1月より国連訓練調査研究所（UNITAR）評議委員会評議員。

JAPAN PRIZE 2016

第43回 日本賞 教育コンテンツ国際コンクール



NHK「日本賞」は世界の教育コンテンツの質の向上を図り、国際理解と協力を増進するという目的で1965年に創設されました。今年10月におこなわれるイベント期間中には、制作者自らが参加して意見交換する上映会や、一次審査を通過したデジタルコンテンツを実際に体験することができるコーナーなど、メディアを利用した未来の教育に関心のある仲間が世界中から集まり、交流するイベントが開催されます（通訳つき）。

参加登録
受付中!!

「日本賞」で新しい世界の学びとの出会いを！（通訳つき）

▶ <http://www.nhk.or.jp/jp-prize/>